

自分も人も大切に
 ~思いやり
 ・チャレンジ
 ・しなやかな心~

道標ない旅



令和2年度 第28号
 2020.12.24発行
 葉山町立長柄小学校
 校長 益田孝彦
 Tel. 046-875-6860
 Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 重要な情報です!! 卒業式に関する町内での取り決めを紹介します。 ◆◆

葉山町立小中学校では、卒業式について以下のとおりといたしますので、お知らせいたします。

○期日については、小学校3月23日(火)、中学校3月11日(木)とし、保護者の参列は1家庭1名までとし、来賓は招待しません。
 (本校は、開場9時、開式9時半を予定)

○在校生代表として参加する児童(生徒)は3名まで入場可ですが、参加がある場合は学校からお知らせします。
 (本校は、在校生の出席はありません)

○式は一時間程度です。詳しい式次第は近くなりましたらお知らせします。

○今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期または中止等の可能性があります。
 (中止の場合、卒業証書は別途、お渡しします)

◆◆ 放課後サポート教室アンケート集計結果が出ました。ご協力感謝申し上げます。 ◆◆

今年は、コロナウイルス対策として、国や県が学習指導員の予算を確保してくださるなどの手当があり、放課後サポート教室を実現化することができました。次年度実施できるかはまだ分かりませんが、皆様からどれぐらい期待されている企画なのかを調査するため、PTA会長さんのご協力を得ながら、アンケートを採らせていただきました。その結果は以下の通りです。

- Q1. 全回答数195件 1年21% 2年12.3% 3年19% 4年19.5% 5年17.4% 6年10.8%
- Q2. 放課後サポート教室の企画をどう思うか。 いいと思う 96.4% 必要と思わない 3.6%
- Q3. 本年度利用(予定を含む)されましたか。 はい 23.1% いいえ 76.9%
- Q4. Q3ではいいの方に伺います。利用してみてもいいか。 ありがたい企画 42 (93.3%)
 子供の役に立っている 22 (48.9%)
 あまり効果を感じない 1 (2.2%)
 利用しづらい 0 (0%)
- Q5. Q3ではいいの方、お子様の様子はいかがでしたか。 意欲的に参加している 23 (56.1%)
 学習意欲が向上した 11 (26.8%)
 学習が身につけ始めた 13 (31.7%)
 受け身で参加している 8 (19.5%)
 意欲に変化は見られない 6 (14.6%)
 まだ身についていない 4 (9.8%)
- Q6. Q3ではいいの方、次年度も参加させたいですか 企画があるなら参加させたい 71.1%
 まだ考えていない 13.3%
 参加させない 7% 他
- Q7. Q3で利用しなかった方、利用しない理由は? 必要ないから 32 (21.6%)
 子供に参加の意思がないから 45 (30.4%)
 学年条件がクリアできないから 41 (27.7%)
 送迎条件がクリアできないから 36 (24.3%)
 他の習い事とバッティングしてるから 30 (20.3%)
 遊ばしてやりたい 15 (10.1%)
 その他各1票の意見が12個ありました。
- Q8. 全員に改めて質問します。次年度もサポート教室の継続を望みますか。 是非企画してほしい 34.9%
 可能なら継続を望む 56.4%
 継続の必要は感じない 8.7%

今回195件の回答をいただきました。そのうち利用経験のあるご家庭が45件、利用経験の無いご家庭が150件、アンケートにご協力くださいました。その96.4%の方が、Q2において、「いい企画」とご回答くださったこと。Q4・Q5では、その成果が上がり始めていると感じる回答があり、Q6で、7割を超す方が継続利用を希望されていることが分かりました。また、Q7では、利用しなかった理由もよく分かる結果が得られました。Q8では、全回答の91.3%の方の継続希望があることも把握できました。学校としてこの声に応えて行くにはどうしたらよいかしっかりと考えて行きたいと思えます。

なお、21日、後期Ⅱ(1月~3月)の希望者に対して、参加日時の決定通知をお配りいたしました。参加のご家庭はご確認お願い申し上げます。

◆◆ 2学年の生活科も大変充実してきました。 ◆◆

授業の写真は、12/7の研究全体会での授業公開の様子です。2年生は「地域の食材を使って」というテーマで、児童の気づきを引き出しています。今回は地産地消を通してどんな発見があるか学んでいます。右端の写真は、給食に大根を提供くださっている、地元下山口の さんです。子どもたちのたくさんの質問を抱えて、2年生の先生方みんな取材し、インタビューにお答えいただきました。学習を深めていくために大切な機会をいただくことができました。このような地元の方とのつながりを大切にしていかなければならないなと思いました。



◆◆ 児童を取り巻く新しい学習環境の流れについて ◆◆

◎児童一人につき一台のタブレット（クロームブック）が配付されます。いきなりは難しいかもしれませんが、4月からの授業の中で、少しずつでも今までとはまたちょっと違うスタイルでの授業が展開され始めることと思います。ワクチン接種のおかげで新型コロナウイルス感染症が下火になってくるかどうかは、まだ予測できる状況ではありませんが、感染拡大防止の切り札として活用ニーズが上がっているかもしれません。

2歳になる私の孫は、スマホを自由に操り、自分の見たい動画を見ています。最近ではFace Timeというテレビ電話機能にも関心を寄せているようです。この世代の子どもたちにとっての当たり前の世界は、私たちが思う以上にAI（人工知能）やIT技術にどっぷりと浸かった世界だと思われ知らされます。

学校の授業もこの背景を無視してはいられなくなるでしょう。教師自身も、クロームブックを活用した授業方法を身につけながら、児童を高めていく必要があることは、（しんどい面もありますが）間違えないでしょう。長柄小学校が、一人一台配付のGIGAスクール構想を、試行錯誤を次第に繰り返しながらも、情報交換しあって、慣れないながらも、受け止めて教育活動に活かしていけるように頑張ればと思います。

◎上記のGIGAスクール構想にも関連しますが、長柄小学校は、日産財団の理科教育助成が決定し、2021年1月1日～2022年12月31日の2年間、総額70万円の助成金を受けて、理科授業研究に入ることになりました。研究テーマは、「対話と探究を通じた、学びを深める理科～ICTの有効活用を目指して～」です。一人一台配付が無駄になることがないように、まずは理科授業での積極的なクロームブックの活用を通して、学校全体のICT活用の起爆剤になればと考えています。私も校長集会等を活用して、児童の理科に対する興味をどんどん引き出して、研究の一助となるように努めたいと考えております。是非応援ください。

◎令和4年度からのコミュニティ・スクールへの準備も進めていきたいと思っております。先日、道標ない旅25・26号にて、長柄小学校学校関係者評価委員会による中間評価の結果を報告させていただきました。評価委員さん方は、10月2日のコミュニティ・スクール学習・説明会に参加された方が多く、「地域が学校の応援団となる」コミュニティ・スクールを実現させたいと考え始めた方が多くおられます。必然的にその会議の報告は、前向き・積極的な意見でまとめられました。一方、長柄小学校の先生方の中には、コミュニティ・スクールがうまく機能していない現状のある学校もあることから、コミュニティ・スクール化に慎重な意見も根強くあることも事実です。今後先生方の不安や疑問が解決されるよう、職員間の意見交流を深めていく必要があります。先生方の「自分自身がコミュニティ・スクールになる意味合いを保護者の皆さんにきちんと説明できるくらい、もっとしっかり学習しないと実施に踏み切れない。」という意見や、「もっと多くの保護者や地域の方々への説明会を実施してほしい。」といった要望にきちんと応えていき、さらには先生方や学校関係者評価委員さん達と実際に先進校の運営協議会を視察するなど、一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思っております。

◆◆ 長柄歩道橋補修工事が始まります。 ◆◆

長柄交差点の歩道橋工事が始まります。今は歩道橋に足場を設置しており、年明け1月5日～3月15日まで、歩道橋の補修が行われます。補修作業時、歩道橋の通行ができない日もあるようです。交通指導員の誘導で、横断歩道へ迂回する場合もあると思います。日常的に使っていたご家庭はご留意ください。



◆◆ 2学期が終了いたします。近隣の学校でもクラスターが発生しているなど油断できない現状です。 ◆◆

この冬休み、本校職員にお願いしたことは、初詣など人混みが予想される場所に赴くことがないよう伝えました。本当にしっかりと自粛していかないと、コロナ禍に巻き込まれる可能性がいよいよ高くなっています。皆様も何卒ご自愛くださり、学校へコロナを持ち込まない努力にご協力お願い申し上げます。

3学期は普段より1日早い、1月7日が始業式（給食開始日）となります。元気な児童と再会できることを心より祈念いたします。それでは皆様、良いお年をお迎えください。